

DAC 新開発戦略 援助研究会報告書

第3卷 国別検討

1998年3月

国際協力事業団

総研
J R
98-15

DAC 新開発戦略援助研究会委員名簿

座長

総括 あ べ よしあき
阿 部 義 章 国際協力事業団 客員国際協力専門員
早稲田大学大学院アジア太平洋センター客員教授

委員

カンボディア い と が しげる
系 賀 滋 アジア経済研究所 APEC 研究センター コーディネーター

ガーナ いぬかい いちろう
犬 飼 一 郎 国際大学大学院 国際関係学研究科 教授

環境 い ま い せんろう
今 井 千 郎 国際協力事業団 国際協力専門員

教育 う つ み せいじ
内 海 成 治 大阪大学 人間科学部 教授

貧困 え し よ ひ で き
絵 所 秀 紀 法政大学 経済学部 教授

援助動向 か さ い あきら
河 西 明 国際協力事業団 専門技術嘱託 (25 周年記念史編さん室長)
(前 技術参与)

保健医療 き た え つ こ
喜 多 悦 子 Chief Field Support and Logistics,
Emergency and Humanitarian Action, WHO
(前 国立国際医療センター 国際協力局派遣協力課長)

援助動向 はやし かおる
林 薫 海外経済協力基金 開発援助研究所 主任研究員
(援助理論研究グループ)

ジンバブエ ひ ら の か つ み
平 野 克 己 アジア経済研究所 総合研究部
アフリカ総合研究プロジェクト・チーム

(敬称略、座長以外は五十音順)

DAC 新開発戦略援助研究会タスクフォース名簿

主査	こやま 小山	のぶひろ 伸 広	国際協力事業団 国際協力専門員
アドバイザー (カンボディア)	あまかわ 天 川	なおこ 直 子	アジア経済研究所 動向分析部
アドバイザー (ガーナ)	たかね 高 根	つとむ 務	アジア経済研究所 総合研究部 アフリカ総合研究プロジェクト・チーム
アドバイザー (WID)	たなか 田 中	ゆみこ 由美子	国際協力事業団 国際協力専門員
アドバイザー (ジンバブエ)	にしうら 西 浦	あきお 昭 雄	創価大学 通信教育部 講師
ガーナ	あべ 阿 部	きみお 記実夫	国際協力事業団 企画部 地域第三課
援助動向	きむら 木 村	りょうじ 亮 二	海外経済協力基金 業務第3部 業務第2課 (平成9年9月より)
援助動向	さいとう 斎 藤	あつこ 敦 子	海外経済協力基金 環境室 環境社会開発課 (平成9年9月より)
貧困	さとう 佐 藤	ゆりこ 由利子	国際協力事業団 国際協力総合研修所 業務課 課長代理
教育・ジンバブエ	しだ 志 田	みつよ 充 代	国際協力事業団 国際協力総合研修所 調査研究課 (財団法人日本国際協力センター派遣研究員)
カンボディア	しのやま 篠 山	かずよし 和 良	国際協力事業団 国際協力総合研修所 調査研究課 (平成9年4月より)
援助動向	たかはし 高 橋	もとゆき 志 行	海外経済協力基金 開発企画部 環境社会開発課 (平成9年8月まで)

総論	たなべ 田 辺	ひろし 宏	国際協力事業団 企画部 企画課
保健医療	のぐち 野 口	なかえ 奈佳恵	国際協力事業団 医療協力部 計画課 ジュニア専門員
援助動向	はらだ 原 田	てつや 徹 也	海外経済協力基金 業務第3部 業務第2課 (平成9年8月まで)
カンボディア	まるやま 丸 山	ひであき 英 朗	国際協力事業団 企画部 地域第一課 (平成9年9月まで)
貧困	むらかみ 村 上	ひろみつ 裕 道	国際協力事業団 国際協力総合研修所 調査研究課 (平成9年3月まで)
環境	やまうち 山 内	くにひろ 邦 裕	国際協力事業団 企画部 環境・女性課 課長代理

(敬称略、アドバイザー・タスクは各々で五十音順)

DAC 新開発戦略援助研究会報告書

第3巻「国別検討」

目次

DAC 新開発戦略援助研究会委員名簿	i
DAC 新開発戦略援助研究会タスクフォース名簿	ii
略語表	xiv

I. ジンバブエ

1. ジンバブエの社会経済の概況.....	2
1 - 1 総論	2
1 - 2 製造業	5
(1) 構造的特徴	6
(2) 生産動向	9
(3) 停滞と構造調整	10
1 - 3 農業	12
(1) 二重構造	12
(2) 生産動向	16
(3) 制度と機構	19
1 - 4 鉱業	21
(1) 鉱業の重要性	21
(2) 主要鉱産物の動向	21
(3) 鉱業の可能性と課題	23
1 - 5 社会的インフラストラクチャー	23
(1) 教育施設	23
(2) 医療・保健	26
(3) 上・下水施設、生活用水	27
1 - 6 経済的インフラストラクチャー	27
(1) 電力・産業用水	27
(2) 運輸	28
(3) 通信	29
1 - 7 国際収支動向	29
(1) 国際収支	29
(2) 貿易	30
(3) 貿易の自由化	32
(4) 民間投資	34
1 - 8 地域経済協力	35
(1) 南部アフリカにおける地域経済協力	35
(2) SADC.....	36
(3) ジンバブエ・南アフリカ間の経済関係	40
2. 政治の動向.....	42
2 - 1 独立	42

2 - 2	シヨナ対ンデベレ	42
2 - 3	外交関係	42
2 - 4	一党制移行問題	43
2 - 5	錯綜する人種融和	43
2 - 6	不安材料	44
3.	主要援助国及び国際機関の援助動向	45
3 - 1	対ジンバブエ援助の概況	45
3 - 2	わが国の援助動向	47
(1)	概況	47
(2)	形態別援助の動向	49
(3)	分野別に見た近年の援助動向	51
(4)	他のドナーとの連携	51
3 - 3	主要援助機関及びNGOの動向	51
(1)	国際機関	51
(2)	二国間援助機関	52
(3)	援助調整	53
(4)	NGOの動向	54
4.	ジンバブエにおける開発の方向性	55
4 - 1	独立後の経済計画	55
4 - 2	財政状況	55
4 - 3	構造調整政策	58
4 - 4	構造調整の社会的側面 (SDA)	59
4 - 5	貧困軽減行動計画 (PAAP)	60
4 - 6	子供のための国家行動計画 (NPA)	61
(1)	教育計画	61
(2)	保健・AIDS予防計画	61
4 - 7	ジンバブエ環境行動計画 (ZEAP)	63
5.	今後の開発課題 - DAC 新開発戦略が意味するもの	65
	フローチャート	65
5 - 1	経済成長力の回復	66
5 - 2	構造調整とDAC新戦略の関連	66
5 - 3	開発成果指標としてのDAC目標	67
(1)	経済的福祉	67
(2)	社会開発	69
(3)	環境の持続可能性と再生	71
6.	提言 - わが国の対ジンバブエ援助のあり方	72
	フローチャート	72
6 - 1	基本的視点 - DAC 新開発戦略を踏まえた援助政策	73
(1)	各種社会政策の維持と拡充	73
(2)	経済成長促進支援	74
(3)	構造調整支援	74
(4)	持続可能な開発支援	74
6 - 2	重点項目	74

(1) 農村開発	74
(2) 産業育成	76
(3) 社会開発	77
(4) 環境保全	77
(5) その他	78
6 - 3 援助実施上の留意点	78
(1) オーナーシップの尊重	78
(2) パートナーシップの拡大	78
(3) 包括的アプローチの模索	78
(4) 援助調整と評価の体制	79
(5) 政策対話の促進	79
(6) グッド・ガバナンス	79
(7) その他	80

<表リスト>

表1 - 1 - 1 主要経済指標	2
表1 - 2 - 1 各国の産業構造（1995年）	5
表1 - 2 - 2 製造業就業者が総人口に占める割合（1990年）	8
表1 - 2 - 3 製造業の平均賃金と1人当たりGNPの割合（1990年）	8
表1 - 2 - 4 製造業各部門の粗生産額（1993年）	10
表1 - 3 - 1 土地と人口の分布状況（1000ha）	13
表1 - 3 - 2 主要作物の収量（kg/ha）	15
表1 - 3 - 3 国民1人当たり穀物生産（kg）	16
表1 - 3 - 4 葉タバコ生産の推移	19
表1 - 4 - 1 主要鉱産物の生産額・量の推移	22
表1 - 5 - 1 医療施設数の推移（1991-95年）	26
表1 5 2 地域別の飲食用水へのアクセス方法	27
表1 - 7 - 1 国際収支の推移（1991-96年）	30
表1 - 7 - 2 主要貿易相手国（1995年）	30
表1 - 7 - 3 主要輸出品目	31
表1 - 7 - 4 主要輸入品目	32
表1 - 7 - 5 関税改革スケジュール	33
表1 - 7 - 6 投資承認件額と件数の推移（1991-96年）	35
表1 - 8 1 南部アフリカ地域機構加盟状況（1997年）	35
表1 - 8 - 2 SADCの域内貿易（1995年）	37
表1 - 8 - 3 南アフリカの対南部アフリカ諸国貿易（1994年）	38
表3 - 1 - 1 対ジンバブエ 援助純額の推移（1979-96年）	45
表3 - 1 - 2 二国間援助機関のODA実績の推移（1992-96年）	46
表3 - 1 - 3 DAC諸国による援助（コミットメント・ベース）の分野別内訳（1992-96年）	47
表3 - 2 - 1 対ジンバブエ わが国のODA実績	48
表4 - 5 - 1 貧困削減行動計画（PAAP）の見積り	60
表4 6 - 1 NPA (1995-2000年) の計画内容と見積もり	61
表4 - 6 - 2 AIDS予防5ヵ年計画の内容	63
表5 - 3 - 1 土地保有形態別の土壌浸食（%）	71

<図リスト>

図1 - 1 - 1 実質経済成長率とインフレ率の推移	3
図1 - 1 - 2 米ドル換算したGDPと1980年価格ZドルでデフレートしたGDP	3
図1 - 1 - 3 総固定資本形成の対GDP比	4

図1-1-4 労働分布率の推移	4
図1-2-1 ジンバブエとマレーシアの製造業構成	7
図1-2-2 GDP、製造業、農業の移動平均変化率	9
図1-2-3 輸入内訳（1980年価格換算）	12
図1-3-1 1ha当たりの肥料投入量（kg）	14
図1-3-2 国民1人当たり穀物生産（kg）	17
図1-3-3 大規模商業農場と共同体地域のメイズ販売量	17
図1-3-4 主要農産物の公社販売額（1990年価格）	18
図1-5-1 小・中学校の推移	24
図1-5-2 教師数の推移	24
図1-5-3 児童・生徒1人当たりの政府教育予算の推移	25
図1-5-4 小学校教師の訓練率	25
図1-6-1 電力供給源の推移（1985-95年）	28
図1-7-1 ジンバブエ・ドルの名目・実質実行為替レートの推移	33
図1-8-1 SADCの部門別調整と担当国	39
図1-8-2 ジンバブエの対南アフリカ輸出入額の推移（1981-95年）	40
図3-2-1 対ジンバブエ わが国のODA実績	48
図4-2-1 政府財政規模（GDP比）	56
図4-2-2 政府支出構成（GDP比）	56
図4-2-3 公務員の内訳	57
図4-2-4 政府債務の対GDP比率	57
参考文献	81

II. ガーナ

1. ガーナ社会経済の現状	88
1-1 経済発展の歴史的背景	88
(1) シンクマ時代 - 輸入代替と国家主導の近代化：1957-1966年	88
(2) 経済停滞の時代：1966-1982年	89
(3) 構造調整政策の実施：1983年以降	90
(4) 政治動向と経済発展	91
1-2 これまでの開発計画と政府の取り組み	94
(1) 構造調整政策の実施	94
(2) ヴィジョン2020 - 長期の国家開発政策の枠組み	96
1-3 地域協力	98
(1) ECOWAS の組織	98
(2) ECOWAS の政策目標	99
2. 主要セクターの現状	101
2-1 農業	101
(1) ガーナ農業の概略	101
(2) ココア部門	101
(3) 政府の農業政策	103
2-2 鉱業	104
2-3 製造業	105
2-4 インフラストラクチャー	106

2 - 5	国際収支と外国援助	107
3.	対ガーナ援助の動向	110
3 - 1	概況	110
3 - 2	わが国の援助動向	110
3 - 3	他の主要ドナーおよびNGOの協力動向.....	112
(1)	国際機関	112
(2)	二国間援助機関	112
(3)	主なNGOと活動分野	113
(4)	現地援助調整	113
4.	ガーナ開発の方向性とDAC新開発戦略の位置付け - 「ガーナ・ビジョン2020年 - 繁栄への長期的路線」との関連性	115
5.	ガーナにおけるDAC新開発戦略の課題.....	118
5 - 1	貧困	118
5 - 2	教育	122
5 - 3	保健医療	125
5 - 4	環境	128
5 - 5	目的達成への課題	129
6.	提言 - わが国の対ガーナ援助のあり方	130
	フローチャート.....	130
6 - 1	基本的な考え方	131
6 - 2	援助重点分野	131
(1)	マクロ経済・開発計画	131
(2)	農林水産業	132
(3)	インフラストラクチャー	132
(4)	鉱工業	133
(5)	教育	134
(6)	保健医療	135
(7)	環境	135
6 - 3	実施上の留意点	136
(1)	地域間経済社会開発の格差是正への配慮	136
(2)	マルチセクター・アプローチ	136
(3)	包括的アプローチ	137
(4)	国別アプローチ - 徹底的な現地主義の尊重	137
(5)	現地スタッフの増強および地域専門家の育成	137
<表リスト>		
表1 - 1 - 1	独立後の各政権の経済政策	88
表1 - 1 - 2	ガーナ経済の動向	92
表1 - 1 - 3	ガーナ政治経済の動向 (1981-1994年)	93
表1 - 2 - 1	構造調整の実績	95
表1 - 2 - 2	ガーナ・ヴィジョン2020の第一次中期計画(1996-2000年)に示された政策目標	97
表2 - 5 - 1	IDA年別承認済融資一覧	109
表5 - 1 - 1	ガーナ地域別・就業形態別貧困率 (1988年と1992年)	119
表5 - 1 - 2	就業形態別平均生活水準 (1992年)	120

表5 - 2 - 1 初等・中等教育における男女別就学率とドロップアウト率（1982/83 - 1990/91年）	123
表5 - 3 - 1 保健統計指標に見るガーナの保健医療水準	127

< 図リスト >

図2 - 1 - 1 農業生態区分図	102
図5 - 2 - 1 初等・中等教育における男女別就学率とドロップアウト率（1982/83 - 1990/91年）	123
参考文献	139

III. カンボディア

1. カンボディア社会経済の現状	142
1 - 1 経済発展の歴史的背景	142
(1) 社会経済システムの崩壊・破壊（1970年代）	142
(2) 国家再建努力と国際的孤立（1980年代）	142
(3) パリ和平協定によって付与された政治的枠組み	143
(4) 1997年7月政変に見る社会的課題	143
1 - 2 主要セクターの現状	144
(1) マクロ経済指標	144
(2) 農林水産業	145
(3) 製造業	146
(4) 経済的インフラストラクチャー	147
(5) 社会的インフラストラクチャー	148
(6) 人的資源	150
1 - 3 対外経済関係	153
(1) 1980年代 - ASEAN 諸国との経済関係の断絶	153
(2) 1990年代 - ASEAN 諸国との経済関係の復活	153
(3) 国際収支動向	154
(4) 対外債務	156
1 - 4 制度面の整備状況	156
(1) 法制度全般	156
(2) 税制	156
(3) 金融制度	157
(4) 土地制度	157
(5) その他諸制度	158
2. 開発計画と政府の取り組み	159
2 - 1 開発計画	159
(1) 「カンボディアの復興・開発に関する国家計画」(NPRD)	159
(2) 「第1次社会経済開発計画 1996 - 2000年」(第1次 SEDP)	160
2 - 2 公的部門の改革	160
(1) 国家機構改革	161
(2) 国有財産・資源の管理	162
(3) 財政改革	163
3. 社会経済開発の主要課題	168
3 - 1 戦乱からの復興	168

(1) 「法の支配」の確立	168
(2) 地雷除去	168
(3) 貧困軽減	170
3 - 2 農村振興	171
(1) 農民所得の向上	171
(2) 雇用創出	173
3 - 3 輸出産業開発	173
(1) 労働集約型輸出産業の誘致	173
(2) 既存の輸出産業のリハビリテーション	174
4. 対カンボディア援助の動向	177
4 - 1 概況	177
4 - 2 カンボディアに対するわが国の援助動向	178
(1) 概要	178
(2) 形態別事業実績	178
4 - 3 主要援助機関およびNGO等の動向.....	179
(1) 国際機関	179
(2) 二国間援助機関	180
(3) NGO.....	180
(4) 援助調整	181
5. 今後の開発の方向性と主要開発課題 - DAC 新開発戦略を踏まえて	182
5 - 1 開発の方向性とDAC 新開発戦略の位置づけ	182
(1) 開発の方向性	182
5 - 2 主要開発課題	183
(1) 貧困	183
(2) 教育	184
(3) 保健医療	184
(4) 環境	184
(5) 参加型開発と良い統治	185
6. 提言 - わが国の対カンボディア援助のあり方.....	187
フローチャート.....	188
6 - 1 カンボディアに対する援助の基本的な考え方	188
6 - 2 援助の重点分野	188
(1) 地雷除去	188
(2) 民主化とグッド・ガバナンス	188
(3) インフラ・生活基盤の整備	188
(4) 資源管理	189
(5) 保健医療対策	189
(6) 教育の充実	189
6 - 3 援助実施上の留意点	189
(1) 政策対話	189
(2) NGO支援	189
(3) 人材活用支援	189
(4) 南南協力	190

< 表リスト >

表1 - 2 - 1	主要マクロ経済指標	144
表1 - 2 - 2	農業部門GDP成長率の推移	146
表1 - 2 - 3	カンボディアの主要保健医療指標	149
表1 - 2 - 4	年齢層別男女比（1996年）	152
表1 - 3 - 1	カンボディアの輸入相手国の推移	153
表1 - 3 - 2	カンボディアの輸出相手国の推移	154
表1 - 3 - 3	カンボディアの国際収支	155
表1 - 3 - 4	カンボディアの経常収支赤字の対GDP比率の推移	155
表1 - 4 - 1	カンボディアの税収構造（1996年）	157
表2 - 2 - 1	国営企業の現状（1996年9月現在）	162
表2 - 2 - 2	国家財政概要	164
表2 - 2 - 3	分野別経常支出	167
表3 - 2 - 1	カンボディアの就業構造	171
表3 - 2 - 2	世帯支出内訳（1993年第4四半期 - 94年第3四半期）	172
表3 - 2 - 3	十分位階層別月あたり平均世帯支出（農村部）	172
表3 - 3 - 1	カンボディアの主要輸出品目	174
表3 - 3 - 2	カンボディアの丸太材生産の推移	176

< 図リスト >

図1 - 2 - 1	籾米の単収の推移（国別比較）	145
図1 - 2 - 2	カンボディアの労働力人口率	151
図1 - 2 - 3	カンボディアの人口ピラミッド（1996年推計）	152
図3 - 1 - 1	カンボディアの地雷地図	169
図2 - 2 - 1	カンボディアの国家財政状況の推移	164
参考文献	191

【執筆分担】	
< ジンバブエ >	
平野克己	1 - 1 ~ 3、2章、4 - 1 ~ 3、 5章、6章、
西浦昭雄	1 - 4 ~ 7、4 - 4 ~ 7、
志田充代	3章
< ガーナ >	
犬飼一郎	2 - 2 ~ 5、3 - 1、3 - 2、 4章、5章、6章、
高根務	1章、2 - 1、
阿部記実夫	3 - 3、
< カンボディア >	
糸賀滋	5章、6章、
天川直子	1 ~ 3章、
篠山和良	4章、

DAC 新開発戦略援助研究会報告書

全体目次

第1巻 「総論」

1. 研究会の概要
2. DAC 新開発戦略の背景とビジョン
3. DAC 新開発戦略の概要
4. DAC 新開発戦略の分野別検討
5. DAC 新開発戦略の国別検討
6. 「DAC 新開発戦略」を踏まえたわが国援助のあり方

第2巻 「分野別検討」

I. 貧 困

1. 「DAC 報告書」での貧困問題の捉え方
2. 貧困問題へのアプローチ - 主要論点の整理
3. DAC 新戦略実施にあたっての注意点
4. 貧困分野に対する援助の動向
5. 提言 - DAC 新開発戦略（貧困）実施に向けたわが国援助のあり方

II. 教 育

1. 教育開発の問題の捉え方
2. 開発途上国の教育の現状と課題
3. 教育改善に対する援助の動向
4. 教育分野におけるDAC 新開発戦略の実施
5. 提言 - DAC 新開発戦略（教育）実施に向けたわが国援助のあり方

III. 保健医療

1. 保健医療問題の捉え方
2. 保健医療問題の現状と課題
3. 保健医療改善への取り組み - 保健政策
4. 援助の動向
5. DAC 新開発戦略の実施
6. 提言 - DAC 新開発戦略（保健医療）実施に向けたわが国援助のあり方

IV . 環 境

- 1 . 環境問題の捉え方
- 2 . 「DAC 新開発戦略」の目標
- 3 . 環境問題の多様性、問題領域、課題
- 4 . 環境問題の取組
- 5 . 環境問題に対する援助の動向
- 6 . 環境資源の減少傾向の逆転を目指す「DAC 新開発戦略」の実施
- 7 . 提言 - DAC 新開発戦略（環境）実施に向けたわが国援助のあり方

第3巻 「国別検討」

I . ジンバブエ

- 1 . ジンバブエの社会経済の概況
- 2 . 政治の動向
- 3 . 主要援助国及び国際機関の援助動向
- 4 . ジンバブエにおける開発の方向性
- 5 . 今後の開発課題 - DAC 新開発戦略が意味するもの
- 6 . 提言 - わが国の対ジンバブエ援助のあり方

II . ガーナ

- 1 . ガーナ社会経済の現状
- 2 . 主要セクターの現状
- 3 . 対ガーナ援助の動向
- 4 . ガーナ開発の方向性とDAC 新開発戦略の位置づけ
- 5 . ガーナにおけるDAC 新開発戦略の課題
- 6 . 提言 - わが国の対ガーナ援助のあり方

III . カンボディア

- 1 . カンボディア社会経済の現状
- 2 . 開発計画と政府の取り組み
- 3 . 社会経済開発の主要課題
- 4 . 対カンボディア援助の動向
- 5 . 今後の開発の方向性と主要課題 - DAC 新開発戦略を踏まえて
- 6 . 提言 - わが国の対カンボディア援助のあり方

第4巻 「国別情報」(46カ国)